

経営比較分析表（令和6年度決算）

栃木県 佐野市

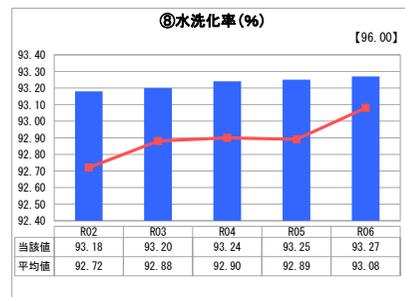
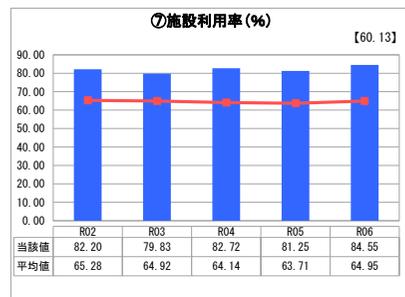
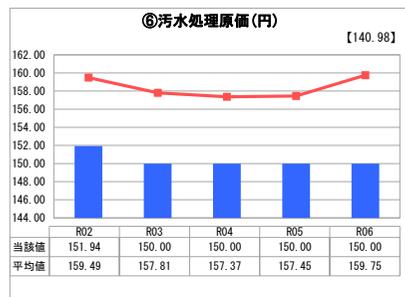
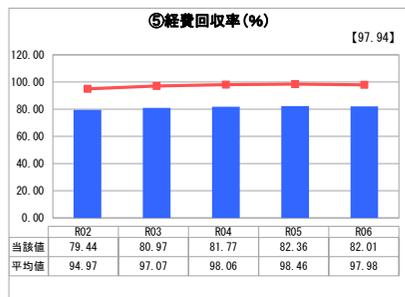
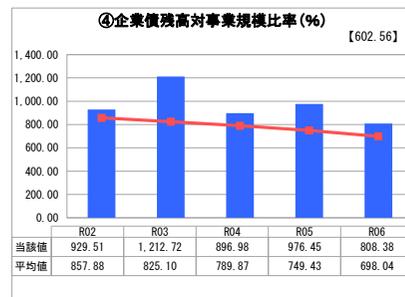
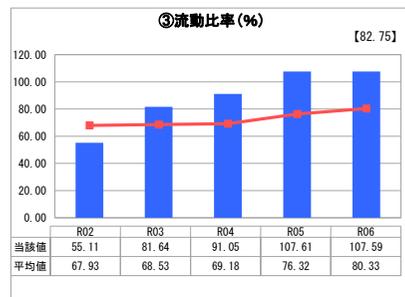
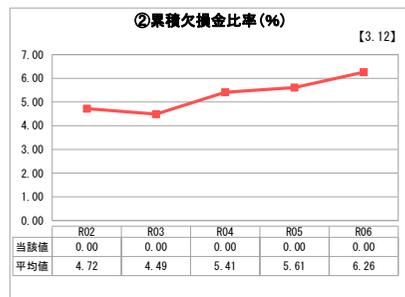
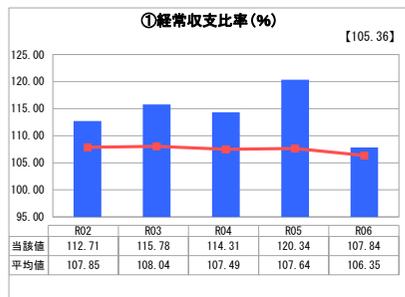
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	69.10	71.29	58.10	2,200

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
112,988	356.04	317.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
80,209	28.85	2,780.21

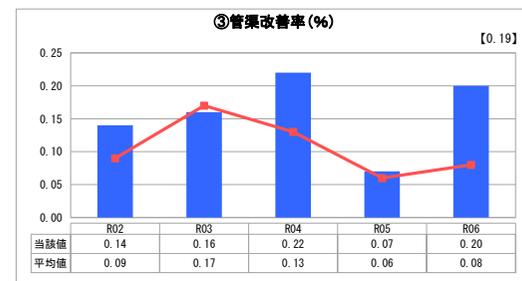
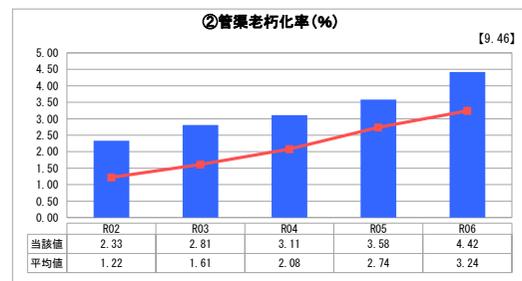
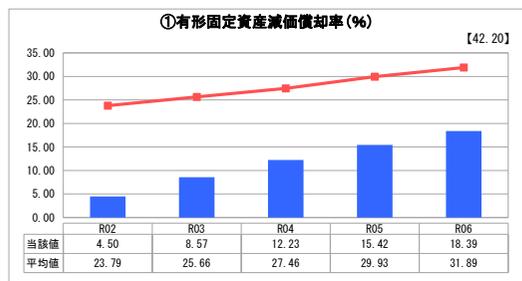
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、前年度に比べて減少している。これは主に一般会計繰入金が減少し、処理場費等の維持管理費が増加したことによるものである。

② 累積欠損金比率は、存在していない。

③ 流動比率は、前年度と同程度であり、類似団体や全国平均と比べて高い数値である。

④ 企業債残高対事業規模比率は、使用料収入の約8倍の企業債残高があることを示し、前年度より低下したものの類似団体や全国平均より高くなっている。

⑤ 経費回収率は、下水道使用料が減少したことにより、前年度よりわずかに減少している。

⑥ 汚水処理原価は、1m³当たり150円前年度と同額であり、類似団体より低く全国平均より高い。

⑦ 施設利用率は、前年度より増加となり、類似団体や全国平均より高い状況である。

⑧ 水洗化率は、前年度と同程度であり、類似団体より高く全国平均より低い状況となっている。経営の健全性・効率性は、④～⑥の指標から見るとやや低い状況にある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、毎年3から4%程度増加しており、類似団体や全国平均と比較すると増加の割合が大きい。

② 管渠老朽化率は、類似団体より高いが全国平均より低い状況である。

③ 管渠改善率は、前年度より増加し類似団体より高いが、全国平均と比べると同程度となっている。

全体総括

使用料収入だけでは経営を維持することが困難であるため、一般会計からの繰入金(基準外)に頼った経営状態となっている。人口減少などにより、使用料収入が減少傾向にあるため、水洗化率の向上、下水道使用料改定、維持管理費等の費用の削減を行う必要がある。また、近年の物価高騰による維持管理費の増加や施設の老朽化に伴う更新費用の増加が見込まれることから、ストックマネジメント計画・経営戦略を考慮し、維持管理の効率化等を進めると同時に計画的な改築更新を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。